

平成25年7月4日

都内私立中学高等学校
校 長 殿
関 係 教 職 員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 清水 哲雄
教職員資質向上研修委員長 嘉悦 克
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

教員資質向上研修「講演会」のご案内
「民族造形から見た日本文化の源流」
人間とは何か～私たちはどこから来てどこへ行くのか～

向暑の候、先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、東京私学研究所では、「教育分野にこだわらず、見聞を広げる」という見地から、下記の通り講演会を行うことにいたしました。

講師の金子量重先生は、長年にわたって「人間とは何か」というご自身の学問テーマを追求し、アジア各地を旅して実際に人々の暮らしぶりに触れてこられました。そして、アジアの国々の基盤は多様な少数民族で支えられていること、日本文化は、自然と共に力強く生きるアジアの国々の賜であると確信されました。

先生の造語である「民族造形」とは、「この世のすべての“物”であり、地域性・民族性・時代性を備えた民族の証」という意味を持ちます。当研修では、民族造形という学問領域を切り開いてきた先生のコレクションを紹介し、先生に“物”が物語る日本文化の源流を浮かび上がらせていただきます。

アジアの「造形」をつぶさに見ることで、西欧の描くアジア像とは異なるアジアの姿を感じ取ることは、日本の源流を遡るだけにとどまらず、今の日本が抱える種々の問題に光をあてることでもあるのではないか、という思いから企画しました。

教科・分掌を問わず、奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 日 時 **平成25年10月8日(火) 18:00～20:00**
2. 会 場 **公益財団法人 東京都私学財団 会議室(飯田橋 セントラルプラザ 11階)**
東京都新宿区神楽河岸 1-1 03 (5206) 7921 (代)
※ 裏面案内図をご参照ください
3. 演 題 **「民族造形から見た日本文化の源流」**
4. 講 師 **アジア民族造形文化研究所長 かねこ 金子 かずしげ 量重 先生**

講師プロフィール

大正14年(1925)横浜市生まれ。アジア民族造形文化研究所所長名誉学術博士、アジア民族造形学会会長(日本学術会議学術研究団体登録)日本アジア塾長。

大妻女子、金沢工業、東京造形、女子美術、立教、中京女子、武蔵野美術(院)、常葉短大、沖縄県立芸術の各大学で民族学、アジア諸民族のアジアの生活文化、民族造形学、図書館学、博物館学を講ず。

平成17年10月に開館した独立行政法人「九州国立博物館」に、2回にわたって1100件を超えるアジア各地の民族造形品の寄贈。館内には金子量重記念室設置。この金子コレクションには、アジアに暮らす様々な民族によって作り使われてきた、生活のあらゆる側面に関係する道具が含まれている。簡単に「アジア」という一言にまとめられている人々の暮らしや考え方が、実は大変多様で、独自性に富むものであることを実感できるコレクションである。

編著書に「ラーマヤナの宇宙―伝承と民族造形」(慶応義塾大学地域研究センター叢書)「アジアの民族造形」シリーズ「日本とアジア～生活と造形～」など多数。

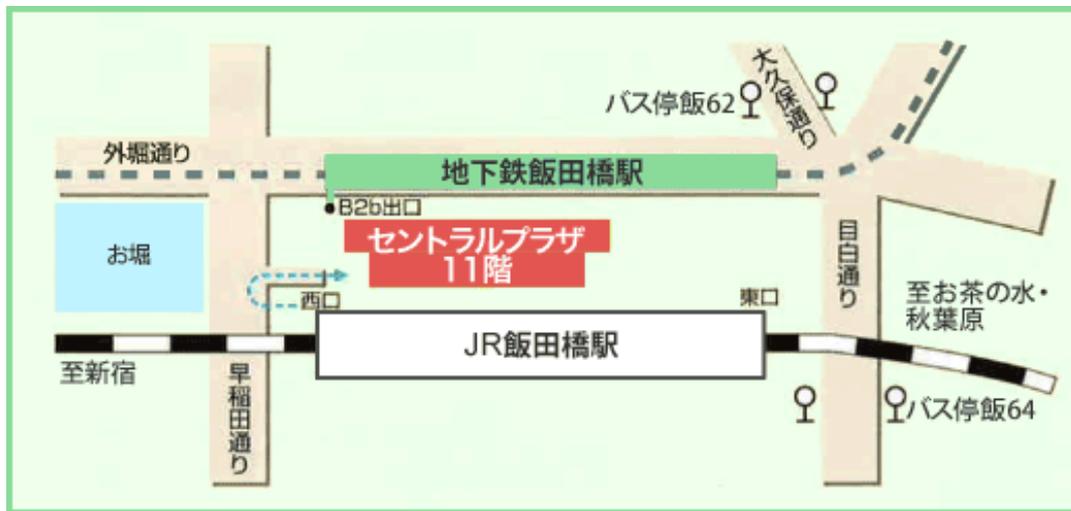
5. 定 員 **約100名** (申し込み順⇒定員になり次第締め切ります)
6. 参加費 **無 料** (当協会会員各校の拠出金と東京都私学財団からの補助金で運営されております。)
7. 申込方法 **9月25日(水)** までに下記宛にWebもしくはFAXにてお申し込み下さい。

URL <http://k.tokyoshigaku.com>

〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 4階
 東京私学教育研究所 教職員資質向上研修
 担当：中山・松田・佐瀬・灰垣
 TEL 03-3263-0544 **FAX 03-3263-0560**

《案内図》

- JR 総武線：飯田橋駅西口下車 すぐ
- 地下鉄東西線・有楽町線・南北線・大江戸線：飯田橋駅下車 B2b 出口
- 都バス：飯 62・飯 64：「飯田橋」停留所下車 ○自家用車：地下駐車場 (250 円/30 分)



切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

教職員資質向上研修「講演会」参加申込書 [10月8日(火)実施]

学 校 名	氏 名 (ふりがな)

上記のとおり参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成25年 月 日

校 長 (印)

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略致します。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)
 申込確認が必要な方は、下記にご記入下さい。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号：
-----	--------